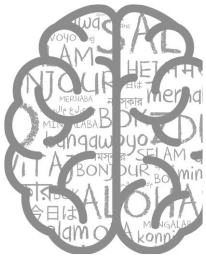
BRAIN and NERVE
Vol.73 No.3 March 2021



今月の表紙：言語習得においては言語に触れる時期や環境が大きな要因となる。また多言語を習得することで，言語能力の獲得のみならず脳機能の維持がもたらされるといった知見も得られてきている。

特集　マルチリンガルブレイン

203　**マルチリンガルと脳の発達**　梅島奎立，酒井邦嘉
211　**脳のしくみから見た効果的外国語教育**　植村研一
217　**マルチリンガルと脳の予備力**　田宮　聡
223　**マルチリンガルと認知症** ── ブラジルと台湾の研究から
鈴木利佳子，目黒謙一
231　**マルチリンガルの失語症**　福永真哉
239　**マルチリンガル失語症の闘病と回復** ── 2005〜2020 年
ロコバント靖子
247　**マルチリンガルと電気刺激による言語機能マッピング**
二村美也子，他
257　Foreign Accent Syndrome　東山雄一，田中章景

総　説

267　**未踏の脳領域「前障」の機能解明**　吉原良浩

原　著

273　**パーキンソン病治療薬の処方実態に関する調剤レセプトデータベース研究**　前田哲也，他

症 例 報 告

283　**テオフィリン関連非痙攣性てんかん重積状態を呈した脳梗塞の 1 例**
植村順一，他

連　載

290　**臨床神経学プロムナード** ── 60 余年を顧みて
第 1 回　Babinski 反射（母趾徴候）
時代的背景：序論（1896）と本論（1898）がある　平山惠造

書　評

264　**基礎から学ぶ 楽しい疫学　第 4 版**　評者：坂本史衣
265　**手に映る脳，脳を宿す手** ── 手の脳科学 16 章　評者：平田　仁

292　投稿規定
294　Information for Authors
296　バックナンバーのご案内
297　次号予告
298　あとがき

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2021

2026/09/20 02:04:42